

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	344 農業振興推進事業									
総合計画	めざまの姿	6	産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部					
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業			担当課	農林水産課					
関連予算科目	一般	会計	06	款	農林水産業費	01	項	農業費	02	目	農業振興費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	農業振興推進費			細事業名 (事業2)	農業振興推進事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	農業者				
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	産業としての農業を振興するため、農家の経営安定を図る。										
事業の概要	農業の振興を図るため、農業共済事業の推進や農業経営資金への利子助成、農林水産業鳥獣被害対策事業への補助を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	資金を借りて農業経営基盤強化を目指す農家に対する利子助成を行った。また、農家が行う電気柵の設置等の鳥獣被害対策に係る事業費を補助した。										
課題	防護柵等設置者の知識、技能の維持・向上										

		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
コスト	事業費 (A)	当初予算額	7,173 千円	4,409 千円	4,271 千円	
		決算(見込)額	2,251 千円	3,482 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	133 千円	907 千円	1,010 千円	
		一般財源	2,118 千円	2,575 千円	3,261 千円	
	人件費 (B)		3,859 千円	4,810 千円	4,810 千円	
	人工(職員数の内訳)		0.52 人	0.65 人	0.65 人	
	トータルコスト (A) + (B)		6,110 千円	8,292 千円	9,081 千円	
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	農業経営資金償還利子助成実施件数	件	目標	20	20	20
			実績	20	26	千円
		達成度	100.0%	130.0%		

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 農家の経営安定と農業の振興を図るため、事業を実施する必要がある。	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	個体(鳥獣)については有害鳥獣として駆除することも必要であるため、猟友会及び環境課との協力体制を構築していく。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	348 農業経営基盤強化促進対策事業									
総合計画	めざますまの姿	6	産業の発展や交流による活力あふれるまち			担当部	市民経済部				
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業				担当課	農林水産課				
関連予算科目	一般	会計	06	款	農林水産業費	01	項	農業費	03	目	域農政総合推進事
	予算事業名	基本事業 (事業1)	地域農政関係経費			細事業名 (事業2)	農業経営基盤強化促進対策事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民	農業者				
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	地域農業の中心となる認定農業者及び認定指向農家等の育成を図る。										
事業の概要	地域の中心となる農家(担い手)を育成するため、担い手への農地の集積や担い手が行なう事業への支援及び経営改善計画の認定などを行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	認定農業者制度の推進と農地の利用権設定業務を行った。										
課題	認定農業者制度への参加農家が高齢化、減少傾向にある。										
コスト			平成26年度		平成27年度		平成28年度				
	事業費(A)	当初予算額	9,023 千円		14,826 千円		23,025 千円				
		決算(見込)額	9,726 千円		10,282 千円		千円				
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	6,294 千円		3,153 千円		18,339 千円				
		一般財源	3,432 千円		7,129 千円		4,686 千円				
	人件費(B)		11,680 千円		11,441 千円		11,441 千円				
	人工(職員数の内訳)		1.55 人		1.54 人		1.54 人				
トータルコスト(A)+(B)		21,406 千円		21,723 千円		34,466 千円					
活動指標	内容		単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
	認定農業者数	人	目標		85	85	88				
			実績		83	86					
達成度				97.6%	101.2%						

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 農業を守るために市が継続して事業を実施する必要がある。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	認定農業者の意向や状況を把握することで、農業経営の近代化と後継者の育成に対する有効な方法を検討していく。また、認定農業者数の増加や認定農業者への農地集積により、耕作放棄地の解消を図る。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	350 畜産振興対策事業									
総合計画	めざますまの姿	6	産業の発展や交流による活力あふれるまち			担当部	市民経済部				
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業				担当課	農林水産課				
関連予算科目	一般	会計	06	款	農林水産業費	01	項	農業費	04	目	畜産業費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	畜産関係経費			細事業名 (事業2)	畜産振興対策事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		畜産業者			
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	畜産農家の経営安定を図るとともに、畜産による臭気対策に重点を置いた事業を展開する。										
事業の概要	湖西市畜産環境衛生対策協議会が行う事業に対して補助金を交付する。また、密閉化・消臭装置設置・消臭飼料等に対する補助事業に対して補助を行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	臭気対策事業を実施した湖西市畜産環境衛生協議会へ補助を行った。										
課題	臭気対策事業は進展しているが、全面的な臭気問題の解消には繋がっていない。										

コスト			平成26年度	平成27年度	平成28年度
	事業費 (A)	当初予算額		5,670 千円	4,677 千円
決算 (見込) 額			3,522 千円	2,431 千円	千円
財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など		0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源		3,522 千円	2,431 千円	4,592 千円
人件費 (B)			3,129 千円	3,061 千円	3,061 千円
人工 (職員数の内訳)			0.42 人	0.41 人	0.41 人
トータルコスト (A) + (B)			6,651 千円	5,492 千円	7,653 千円

活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	臭気対策事業実施件数	件	目標		10	10
実績				11	13	
達成度				110.0%	130.0%	

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 畜産農家の臭気に対する意識は高いが対策には費用負担が伴うため、経営の安定と環境対策のため市が継続して事業を実施する。	

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	畜産施設の周辺地域では悪臭が問題となっており、臭気対策は市が継続して取り組む必要がある。

平成28年度 ★実施計画 個別評価シート（27年度事業の評価）

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	352 土地改良整備事業									
総合計画	めざまちの姿	6	産業の発展や交流による活力あふれるまち		担当部	市民経済部					
	基本計画【施策】	6-②食を守る農業			担当課	農林水産課					
関連予算科目	一般	会計	06	款	農林水産業費	01	項	農業費	07	目	土地改良費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	土地改良整備費			細事業名 (事業2)	土地改良整備事業				
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営		対象	特定の市民		農業者			
事業期間	開始年度	-		終了予定年度	-						
事業の目的	農業用施設の長寿命化を図り、既存の施設を有効利用する。										
事業の概要	老朽化が目立つ農業用ため池及び排水機場の整備を県営事業で行う。										

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	豊川二期事業及び県営土地改良整備事業を推進した。また、多面的機能支払交付金事業制度を活用し、地域共同による農地・農業用水等の資源の保管理と農村環境の保全向上に取り組んだ。										
課題	農業施設の老朽化が進んでおり、改修等の必要な施設が増えるため、事業費は増加傾向である。										

		平成26年度	平成27年度	平成28年度		
コスト	事業費 (A)	当初予算額	68,495 千円	36,988 千円	55,130 千円	
		決算(見込)額	55,886 千円	44,845 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	1,246 千円	9,143 千円	10,293 千円	
		一般財源	54,640 千円	35,702 千円	44,837 千円	
	人件費 (B)	7,821 千円	7,651 千円	7,651 千円		
	人工(職員数の内訳)	1.04 人	1.03 人	1.03 人		
	トータルコスト (A) + (B)	63,707 千円	52,496 千円	62,781 千円		
活動指標	内容		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	排水機場の機能保全整備達成率(整備済 機場数/3機場)	%	目標	67	67	67
			実績	67	67	千円
		達成度	100.0%	100.0%	千円	

3. 評価 (Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 土地改良施設の保管理は地域農業の持続的な経営を支える重要施策であるので、市が継続して事業を実施する必要がある。	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	施設の更新など多額の費用を要するものについては、補助事業を活用した計画的な整備を行う。